

長野地区社会保障推進協議会ニュース



長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)

飯綱町議会と小川村議会

国民健康保険の国庫負担

拡大求める意見書を採択

長野地区社保協の請願・陳情が採択される

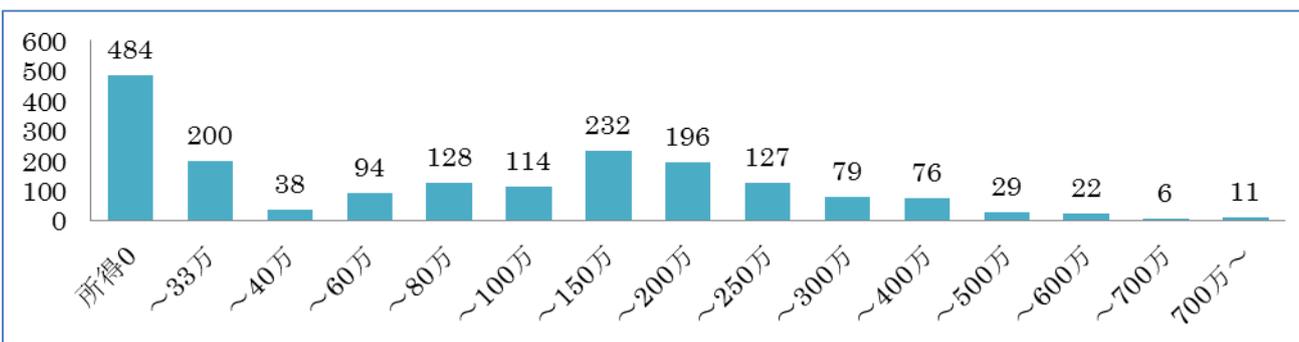
長野地区社保協は国民健康保険の国庫負担拡大をもとめる意見書採択について、6月飯綱町議会に請願、小川村議会に陳情を提出。両議会で採択されました(飯綱町議会採択の意見書を裏面に)。

飯綱町の国民健康保険の現状は…

飯綱町全体の約4,200世帯のうち、国民健康保険加入は1,770世帯です。飯綱町の国保税は、協会けんぽの1.8倍の負担です(下図)。

飯綱町国保と協会けんぽ 保険料の比較	
所得200万円(大人2人・子ども1人世帯)試算	
飯綱町・国民健康保険税	321,690円
協会けんぽ・保険料	178,223円

飯綱町国保世帯を、所得金額段階別に表したものが下図。所得0が484世帯です。飯綱町の国民健康保険加入世帯も、低所得層が多いことが明らかです。国保税を滞納しているのは107世帯。滞納率は6.0%です。



長野市老人クラブ連合会で

75歳以上医療費負担2割

化反対署名 4,788筆

老人クラブ連合会と初懇談、協力を依頼

長野地区社保協は2月21日に長野市老人クラブ連合会と初めて懇談し、75歳以上の医療費負担原則2割化に反対する署名について取り組みのお願いをしていました。6月19日、長野市老人クラブ連合会から4,788筆の署名を受け取りました。いただいた署名は国会に提出します。

2月21日、懇談で挨拶する花岡会長(右)。



国民健康保険への国庫負担の増額を求める意見書案

国民健康保険制度は、国民の4人に1人が加入し、国民皆保険制度の重要な柱になっています。

市町村国保の加入者構成は、かつては7割が農林水産業と自営業でしたが、今では43%が年金生活者などの「無職」、34%が「非正規雇用」などです。国保加入者の貧困化・高齢化等が進むなかで、国保料・税の負担は協会けんぽや組合健保に比べて、加入者にますます重い負担を強いる制度となっています。

国民健康保険の構造的な問題を解決し、加入者に過酷な負担となっている国保料・税を引き下げるためには、十分な公費を投入することが必要不可欠です。

全国知事会・同市長会・同町村会においては、市町村国保への定率国庫負担の増額を政府に要望し続けており、2014年には公費を1兆円投入し、協会けんぽ並みの負担率にすることを政府・与党に求めています。

国保料・税が高くなる要因の一つに、世帯の人数を算定基礎とする「均等割」があります。世帯の人数が保険料に影響するのは国保だけで、各世帯に定額でかかる「平等割」と同様、他の保険にはないものです。

医療分、後期高齢者医療支援分に係る「均等割」と「平等割」を合わせると、全国で徴収されている国保料・税の額はおよそ1兆円とされています。1兆円の公費投入で協会けんぽ並みの国保料・税とすることが可能です。

以上の趣旨から、国において国民健康保険料・税の引き下げのため、国庫負担を増額することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月19日

内閣総理大臣／厚生労働大臣／衆議院議長／参議院議長 あて

長野県 飯綱町議会議長 清 水 満